

銚田市授業スタイル

考える段階

① 自力解決(パーソナルワーク)の時間を、十分に確保する

- 自力解決の時間が確保されなければ、グループや全体での話し合い活動につながりません。実態に即した時間を確保することが重要です。

自力解決において考えさせる際の留意点

「考える」とは「何を」「どのようにする」ことが分かっていないと、自力解決の時間になって活動が停止してしまう児童・生徒が出てきます。



考えるとは、既習事項(知識, 技能, 考え方など)をもとに、新しいもの(知識, 技能, 考え方など)をつくり出す(生み出す)こと



既習事項に気づかせる支援を!

自力解決の例

本時の課題

平行四辺形の面積の求め方を考えよう

- 何を考えるのか→平行四辺形の面積の求め方

考える

- どのようにすればよいか

既習の図形(長方形の面積)だと求められる……………

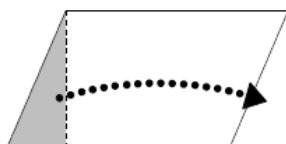
既習事項



長方形にできないか

面積は分けても、動かしてもかわらない……

既習事項



底辺×高さで求められる……………

新しい知識